

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年5月8日

【四半期会計期間】 第48期第1四半期(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

【会社名】 B - R サーティワン アイスクリーム株式会社

【英訳名】 B-R 31 ICE CREAM CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 渡辺 裕明

【本店の所在の場所】 東京都品川区上大崎三丁目1番1号

【電話番号】 03(3449)0331

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部長 肥沼 邦幸

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区上大崎三丁目1番1号

【電話番号】 03(3449)0331

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部長 肥沼 邦幸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第47期 第1四半期累計期間	第48期 第1四半期累計期間	第47期
会計期間		自 2019年1月1日 至 2019年3月31日	自 2020年1月1日 至 2020年3月31日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高	(千円)	3,784,567	3,958,643	19,317,993
経常利益又は経常損失()	(千円)	136,158	18,537	777,207
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失()	(千円)	76,481	7,627	439,276
持分法を適用した場合の 投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	735,286	735,286	735,286
発行済株式総数	(千株)	9,644	9,644	9,644
純資産額	(千円)	9,192,136	9,421,464	9,558,832
総資産額	(千円)	17,328,235	17,291,327	18,259,379
1株当たり四半期(当期)純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額()	(円)	7.94	0.79	45.59
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
1株当たり配当額	(円)			30.00
自己資本比率	(%)	53.0	54.5	52.4

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3 持分法を適用した場合の投資利益は、関連会社がないため、記載しておりません。

4 第47期第1四半期累計期間潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

第48期第1四半期累計期間及び第47期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間及び本四半期報告書提出日（2020年5月8日）現在において、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」につき、以下の追加すべき事項が生じております。

新型コロナウイルスの感染拡大による日本全国を対象とした「緊急事態宣言」の発令により、店舗があるショッピングモールの休業・時間短縮営業が発生しており、その店舗数や実施期間によって当社の業績に重要な影響を与える可能性があります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日において当社が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期累計期間（2020年1月～3月）における日本国内の経済環境は、前半は企業収益や雇用・所得環境の改善から緩やかな景気回復基調が継続しましたが、個人消費におきましては消費税増税の影響もあり一部停滞が見られました。一方で米国の通商政策により懸念される貿易摩擦の影響や英国のEU離脱問題など海外の政治・経済動向は不透明な状況が続いていました。後半には世界的な新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、国内のみならず世界経済の先行きが全く見えない状況に陥りました。

アイスクリームを含めたデザート市場に於きましては年々拡大し続けており、外食業界ではInstagramやLINE、Facebookなどを中心としたSNSを使ったコミュニケーションや、急速に浸透しているキャッシュレスのプロモーションが進化し、業態を越えた顧客の獲得競争が一層激化しています。更に社会構造の変化によるサービス業全般での労働需給逼迫により人件費や物流費が上昇するなど、経営環境は依然として厳しい状況で推移しております。

このような環境の下、当社ではサーティワンアイスクリームの永遠の経営モットーである“ We make people happy. ” 「アイスクリームを通じて、お客様に幸せをお届けします。」をスローガンに、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと“ FUN（楽しいこと、嬉しいこと、感動すること）” に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンとなることを目指すとともに、企業の継続的成長の維持と、企業価値の増大に努めてまいりました。

当期のマーケティング戦略は、店頭強化による既存店の活性化を最重要課題とし、アイスクリーム専門店にしかできないフレーバーの投入や、専門店ならではのサービスを提供するとともに、キャンペーンを強化してまいりました。

また、市場環境の変化に対応した店舗戦略として、店頭でキャンペーンやお勧め商品を動画により発信する「デジタル・サイネージ」の導入強化を進め、店舗の改装やスクラップ・アンド・ビルドにも引き続き積極的に取り組んでおります。

当第1四半期累計期間の営業施策としては、毎月「フレーバー・オブ・ザ・マンズ」として魅力的なアイスクリームを新発売するとともに、冬限定の温かいアイスクリームデザート「ホット31ドルチェ」や、苺の季節に合わせた「フレッシュストロベリーサンデー」を投入し、更に映画“スター・ウォーズ”公開に合わせ数量限定アイスクリームケーキを発売するなど、商品ラインナップを強化いたしました。また、お正月やひなまつり等のオケージョンに合わせた新商品やプロモーション、50周年を迎えた国民的キャラクター“ドラえもん”を使用したキャンペーンなども実施しております。コミュニケーションにおいては、350万人の会員を有する当社独自の会員制アプリ「31cLub」やSNSでの告知を強化して来店促進と売上の向上を図りました。

また、店舗施策として改装を20店実施した一方、新規出店の前倒しの他、大学内のカフェテリアなど特殊立地への出店を加速し、期末店舗数は1,173店舗と前年同期末に比べ20店舗増加となりました。

売上高は、2月にスマホ決済「PayPay」とのコラボレーションキャンペーンを実施したこともあり、当第1四半期累計期間は39億58百万円（前年同期比104.6%）と前年同期間を大きく上回りました。

売上原価は18億90百万円（前年同期比100.3%）となり、その結果、売上総利益は20億67百万円（前年同期比108.9%）となりました。

販売費及び一般管理費は、売上高の増加に伴う物流費等が増加した一方、新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベント等の中止による減少もあり前年同期とほぼ変わらず、営業損失は11百万円（前年同期は営業損失1億64百万円）となりました。

以下、経常利益18百万円（前年同期は経常損失1億36百万円）、四半期純利益7百万円（前年同期は四半期純損

失76百万円)となりました。

なお、当社はアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2)財政状態の分析

当第1四半期末における総資産は前事業年度末に比べ9億68百万円減少の172億91百万円となりました。これは主に、売掛金の減少によるものであります。

総負債は前事業年度末に比べ8億30百万円減少の78億69百万円となりました。これは主に、未払金の減少によるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ1億37百万円減少の94億21百万円となりました。これは主に、配当金の支払いにより繰越利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当社は、パスキン・ロビンス・フランチャイジング エルエルシーと“ライセンスおよび技術援助契約”を締結しており、アイスクリーム研究開発については同社で実施しているため、研究開発費は発生しておりません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	38,003,000
計	38,003,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年5月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,644,554	9,644,554	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	9,644,554	9,644,554		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年1月1日～ 2020年3月31日		9,644,554		735,286		241,079

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 8,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,634,000	96,340	
単元未満株式	普通株式 1,954		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	9,644,554		
総株主の議決権		96,340	

(注) 1 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

2 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式8株が含まれております。

【自己株式等】

2020年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) B - R サーティワン アイスクリーム株式会社	東京都品川区上大崎 三丁目1番1号	8,600		8,600	0.09
計		8,600		8,600	0.09

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第1四半期累計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,302,815	2,944,150
売掛金	3,258,104	1,585,824
製品	837,458	1,053,541
原材料	460,548	501,537
貯蔵品	348,901	238,767
前渡金	140,634	70,709
前払費用	296,289	329,462
未収入金	1,138,935	158,527
その他	67,092	146,231
貸倒引当金	51	50
流動資産合計	7,850,728	7,028,701
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,147,653	4,149,957
減価償却累計額	1,818,249	1,857,937
建物(純額)	2,329,404	2,292,020
構築物	437,700	437,700
減価償却累計額	233,782	238,514
構築物(純額)	203,917	199,185
機械及び装置	4,076,259	4,109,252
減価償却累計額	2,740,807	2,799,123
機械及び装置(純額)	1,335,452	1,310,128
賃貸店舗用設備	4,771,118	4,759,923
減価償却累計額	2,759,928	2,828,561
賃貸店舗用設備(純額)	2,011,189	1,931,362
直営店舗用設備	101,971	102,116
減価償却累計額	65,948	67,908
直営店舗用設備(純額)	36,023	34,208
車両運搬具	61,298	58,815
減価償却累計額	40,441	30,286
車両運搬具(純額)	20,856	28,528
工具、器具及び備品	683,676	689,601
減価償却累計額	511,994	526,106
工具、器具及び備品(純額)	171,682	163,495
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	858	16,878
有形固定資産合計	6,804,748	6,671,169
無形固定資産		
ソフトウェア	562,374	581,949
ソフトウェア仮勘定	3,342	2,860
電話加入権	17,065	17,065
無形固定資産合計	582,781	601,874

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	86,555	72,751
従業員に対する長期貸付金	1,911	1,771
破産更生債権等	127,524	127,864
長期前払費用	495,296	470,366
繰延税金資産	125,882	126,083
敷金及び保証金	2,193,206	2,199,826
その他	16,475	16,475
貸倒引当金	25,731	25,557
投資その他の資産合計	3,021,120	2,989,581
固定資産合計	10,408,650	10,262,626
資産合計	18,259,379	17,291,327

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	491,937	594,029
1年内返済予定の長期借入金	230,012	230,012
未払金	1,944,768	1,221,658
未払費用	40,592	40,621
未払法人税等	191,524	15,748
未払消費税等	34,111	22,426
前受金	2,281,529	2,082,788
預り金	176,265	414,529
賞与引当金	45,064	110,847
役員賞与引当金	4,000	-
ギフト券回収損失引当金	221,276	210,143
その他	48,841	6,128
流動負債合計	5,709,925	4,948,933
固定負債		
長期借入金	1,434,118	1,376,615
退職給付引当金	81,529	87,363
役員退職慰労引当金	101,300	83,149
資産除去債務	124,677	124,859
長期預り保証金	1,248,996	1,248,942
固定負債合計	2,990,621	2,920,929
負債合計	8,700,546	7,869,862
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金		
資本準備金	241,079	241,079
資本剰余金合計	241,079	241,079
利益剰余金		
利益準備金	168,676	168,676
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	35,844	35,844
別途積立金	4,140,000	4,140,000
繰越利益剰余金	4,248,541	4,111,630
利益剰余金合計	8,593,063	8,456,151
自己株式	17,083	17,083
株主資本合計	9,552,344	9,415,433
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,488	3,505
繰延ヘッジ損益	-	9,537
評価・換算差額等合計	6,488	6,031
純資産合計	9,558,832	9,421,464
負債純資産合計	18,259,379	17,291,327

(2) 【四半期損益計算書】

【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	3,784,567	3,958,643
売上原価	1,885,112	1,890,678
売上総利益	1,899,455	2,067,964
販売費及び一般管理費	2,064,059	2,079,770
営業損失()	164,603	11,805
営業外収益		
受取利息	163	115
店舗用什器売却益	17,641	6,536
販売済未使用ギフト券収入	17,883	34,694
受取ロイヤリティー	477	-
その他	2,295	1,703
営業外収益合計	38,461	43,050
営業外費用		
支払利息	4,146	3,809
店舗設備除去損	5,809	8,354
その他	60	542
営業外費用合計	10,016	12,707
経常利益又は経常損失()	136,158	18,537
特別損失		
固定資産売却損	-	1,117
固定資産廃棄損	12,836	2,767
特別損失合計	12,836	3,884
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失()	148,994	14,652
法人税等	72,513	7,025
四半期純利益又は四半期純損失()	76,481	7,627

【注記事項】

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大による日本全国を対象とした「緊急事態宣言」の発令により、当四半期報告書提出日現在、店舗（全国1,100店以上）は、出店しているショッピングモールの休業（363店）、時間短縮営業（565店）の影響を受けており、この状況が5月中も継続し、6月においても外出自粛が一定程度影響するものと仮定しております。当第1四半期累計期間における会計上の見積り（繰延税金資産の回収可能性、固定資産減損の兆候の判定）についてはこの仮定を加味した予測数値により実施しております。

(四半期損益計算書関係)

前第1四半期累計期間（自2019年1月1日 至2019年3月31日）及び当第1四半期累計期間（自2020年1月1日 至2020年3月31日）

当社では、主として夏季に需要が伸びる製品の製造・販売を行っているため、第2、第3四半期会計期間の販売実績が、他の四半期会計期間に比べて高くなっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間における減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費	342,991千円	360,993千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月15日 定時株主総会	普通株式	144,539	15.00	2018年12月31日	2019年3月18日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月13日 定時株主総会	普通株式	144,539	15.00	2019年12月31日	2020年3月16日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、アイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

四半期財務諸表等規則第10条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期財務諸表等規則第10条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期財務諸表等規則第10条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額()	7円94銭	0円79銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	76,481	7,627
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(千円)	76,481	7,627
普通株式の期中平均株式数(株)	9,635,992	9,635,946

(注) 前第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
当第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月8日

B - R サーティワン アイスクリーム株式会社
取締役会御中

P w C あらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 萩 森 正 彦
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているB - R サーティワン アイスクリーム株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの第48期事業年度の第1四半期会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第1四半期累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、B - R サーティワン アイスクリーム株式会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 . XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。